



だまされないうで！特殊詐欺

一月三十一日(土) 梓川老人福祉センターと梓川公民館で第二十回女性フォーラムが開催されました。

このイベントは梓川女性団体連絡協議会主催で二十回の節目を迎える今回は、二十年の歩みを振り返った内容や梓川女性団体を立ち上げ、女性フォーラム開催のきっかけをつくった三人の女性パネラー



▶左から倉科さん、西牧さん、上嶋さん

倉科悦子さん、西牧恵子さん、上嶋喜美子さんによるパネルディスカッションがあり、集まった参加者約九十人は熱心に耳を傾けました。上嶋さんの軽快なトークで会場に笑いがあふれる場面もありました。

その後、とらふいっく Sisters による「わかっている わかっている」と題して歌や音楽、ダンスを取り入れたインパクトのあるミュージカルで「会社のカバンを紛失した」「会社のお金を返済しないと大変なことになる」「携帯電話の番号が変わった」などと、何とか息子を助けたという親心に付け込む手口、特殊詐欺の防止と腹話術の人形の寸劇が披露され、拍手あり、笑いあり、会場が一体とな

り楽しく学ぶことができました。



上大妻学級講座

笑いヨガで体ポカポカ

二月十五日、上大妻町会は恒例の『家庭教育学級』を開催し、最近秘かなブーム？と言われている『笑いヨガ』を参加者三十人で体験しました。

参加者同士誰とでも見つめ合い、握手し合い、手を大きく振りながら意味もなく笑う、笑う、笑う。三十分後には、体も温まり会場の暖房はすべてストップ。寒いこの時期凝り固まった体をほぐし、ストレス解消にはピッタリでした。



公演後、梓川公民館で「もつとお米を食べよう」をテーマに伝統食品のレシビなどが展示され、米粉を使用したワッフルやパンなどの販売、発芽玄米入りのおにぎり、つきたてのおもち、具だくさんの豚汁、豆腐、りんごの入ったお漬物など体にいい安心安全な手作り料理が振る舞われ、米麴で作った甘酒は自然の甘さで飲みやすく後引くおいしさでした。

旅立ちの春



▶真新しい制服で(3月19日) 小学校卒業式



▶先生方に見送られて(3月18日) 中学校卒業式

知れば知るほど奥が深い ーワイン基礎講座ー

一月十六日、二月九日、二十四日、三月五日の全四回連続講座が梓川公民館生活研修室で行われました。



第一回は「ワインの基礎」、第二回は「フランスワイン・ドイツワイン」、第三回は「塩尻ワイン」、第四回は「その他主要ワイン」について行われ、講師は青木公民館長。第三回にはシニアワインアドバイザーの西牧穂高さん（下立田）を講師に招き男性十人、女性九人の計十九人が参加しました。



なぜ塩尻の桔梗ヶ原でワインが作られるようになったのか、土壌適性や品種の試行錯誤について話され、ワイン醸造の変遷の中で五ーワイン、サントリー、メルシャンの成
功と苦悩を紹介する中では、他県の方は「ごいちワイン」とは読まずに「ごじゅういち」や「ごー」ワインと読んでしまうなど面白い話を交え、質問も多くなり活気にあふれていました。
氷室の滝澤夫妻は、「全四回は参加しやすく色々な種類のワインを試飲できるのは魅力。赤ワインが好きですが、今日紹介された『ケルナー』もおいしいです。ワインを楽しむことを勉強させていただきます。」とお二人で笑顔で楽しまれていました。



今年で十七回目を迎えるそば会は上角地区で収穫したそば粉を使用。そばつゆは、かつお節からダシをとり、かえしを入れながら何度も味見しながら調整したそばつゆ。

こだわりのそば会 上角町会

上角の北原さんは、「講義を受けて産地の特徴や選び方、味がわかってきました。今回が三回目ですが、前二回を受講してワインセラーに行くのが楽しくなり、ワインと食事の組み合わせも意識するようになりました。」と話してくれました。



◀縁の下の力もち

そばを打つ台も講師の手作りで自分の背丈にあった仕様に。のし棒を置く台も手作り、購入したのは包丁のみと…。そば粉をこねて丸めた時の硬さの確認は、耳たぶくらいのやわらかさなど、それぞれの工程で要領を講師から教えてもらい、そば打ちの体験に参加した池上さんは「いざ切ると緊張して一定の細さにキレイに切れず、うどんみたいなそばになった」と笑顔を見せました。

公民館講座 フォトスナップ



▲ 日本酒利き酒講座



▲ 人権啓発コンサート



▲ 刃物研ぎ講座